

# 「カツラの森、命あふれる川の復元事業」 各種作業地位置図

## 【実施主体】

図1～2: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)\*  
図3～5: 斜里町

## 【実施メモ】

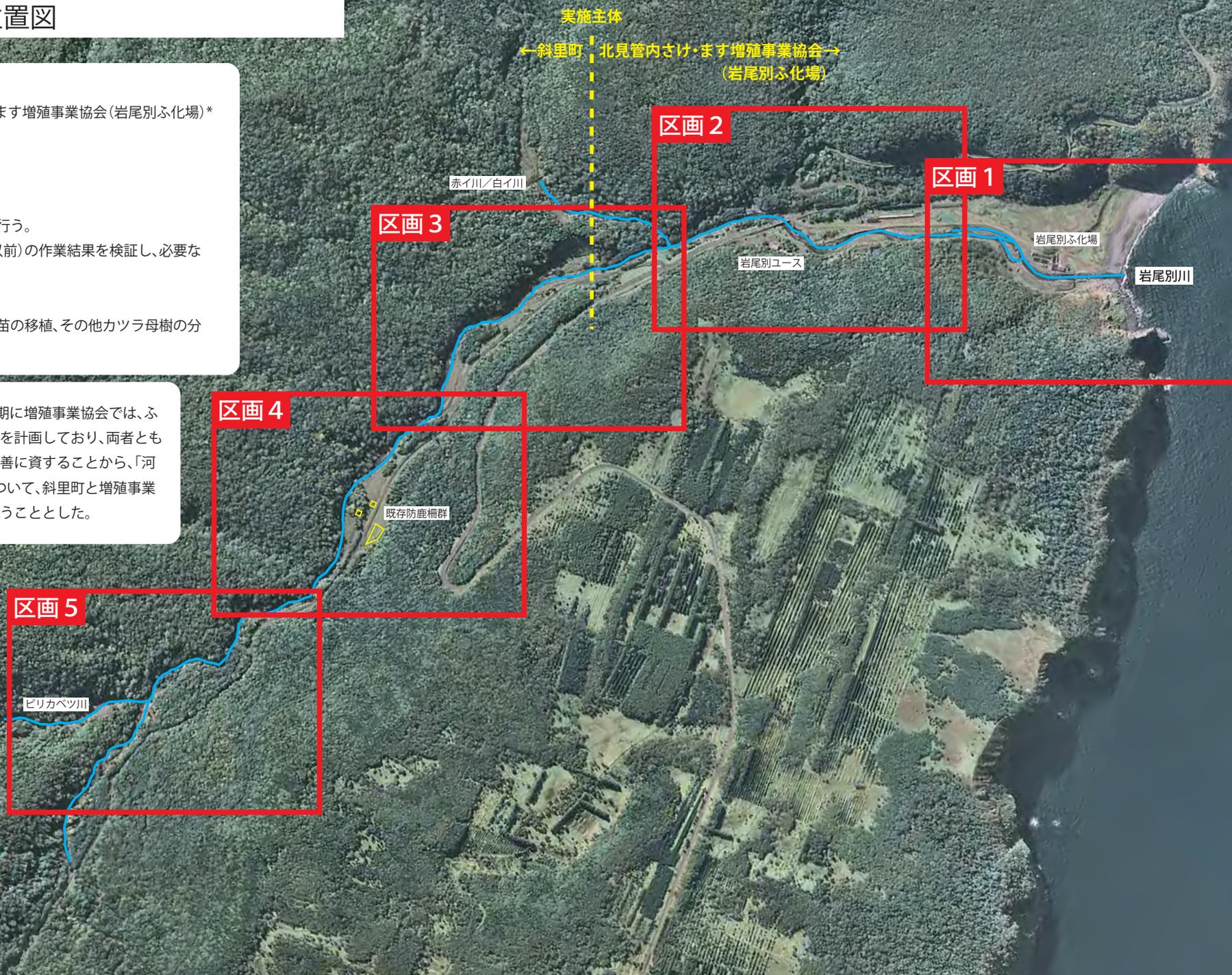
### ■河川関係:

- ・作業は下流部から順次行う。
- ・必ず前年(またはそれ以前)の作業結果を検証し、必要な手直し等を行う。

### ■森林再生関係:

- ・防鹿柵設置及び広葉樹苗の移植、その他カツラ母樹の分布調査を実施する。

\*今回の復元事業と同時期に増殖事業協会では、ふ化場施設及び河川の改良を計画しており、両者とも岩尾別川流域の環境の改善に資することから、「河川構造改多様化事業」について、斜里町と増殖事業協会は連携して事業を行うこととした。



# 区画1

良好な産卵床

B

## ◎河道の修正 (◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 左岸に寄った河道を中央に誘導する。

方法: 流路が中央に寄るように、左岸側に岩石等を配置する。配置する岩石は、中州及び右岸河原の砂礫を用いる。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。

(クレーン等大型重機使用)

実施: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)

\*2012年6月実施済



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

C

## ◎取水口周辺整備 (◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 低水時でも施設への水の供給が滞らないよう、恒常的に取水ができるようにする。

方法: 常に取水口周辺に水が滞留するよう、上流部の河川内に岩石等を配置し、流路を誘導する。配置する岩石は、陸上(ふ化場敷地内)のものを利用する。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。

(クレーン等大型重機使用)

実施: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)

\*2012年6月実施済



←右岸 <下流から上流方向を撮影> 左岸→

岩石等配置

取水口

岩石等配置

岩石等配置

→中州及び右岸河原の砂礫を左岸側の河川内にならし入れる。

→右岸河原の砂礫を左岸側の河川内にならし入れる。

A

## ◎河道の修正 (◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 左岸に寄った河道を中央に誘導する。

方法: 流路が中央に寄るように、左岸側に岩石等を配置する。配置する岩石は、右岸側の河原の砂礫を用いる。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。

(クレーン等大型重機使用)

実施: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)

\*2012年6月実施済



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

# 区画2



赤い川/白い川

導水管

岩石等配置

産卵床形成

E

◎導水管周辺整備(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)  
◎サケマスの産卵環境改善  
目的: 本流と赤い川との合流部に埋設されている導水管が露出しないようにする。  
方法: 導水管周辺に土砂が溜まるよう、下流部の河川内に岩石等を配置する。結果、下流部に産卵に適した緩やかな瀬が形成される。また、配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。  
(バックホー等大型重機使用)  
実施: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)

\*2012年6月実施済



←右岸 <下流から上流方向を撮影> 左岸→

岩石等配置

取水口

D

◎取水口周辺整備◎オショロコマ等の生息環境改善含む  
目的: 低水時でも施設への水の供給が滞らないよう、恒常的に取水ができるようにする  
方法: 常に取水口周辺に水が滞留するよう、周辺の河川内に岩石等を配置する。配置する岩石は、陸上(ふ化場敷地内)のものを利用する。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。  
(クレーン等大型重機使用)  
実施: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)

\*2012年6月実施済



←右岸 <下流から上流方向を撮影> 左岸→

良好な産卵床

良好な産卵床  
→現状維持



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

# 区画3

◇既存人為的土手  
→頂上部をならす  
(人為的構造物の解消のため)

良好な河川状態  
→現状維持



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

◇既存人為的土手  
→現状維持  
(道路への洪水等  
災害防止のため)



←右岸 <下流から上流方向を撮影> 左岸→

良好な産卵床  
→現状維持



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

防鹿柵設置予定地(2014年)  
\*自立式大型柵



実施主体  
←斜里町 北見管内さけ・ます増殖事業協会→  
(岩尾別ふ化場)

取水口

産卵床形成

岩石等配置

F

◎取水口周辺整備◎オショロコマ等の生息環境改善含む  
◎サケマスの産卵環境改善

目的: 低水時でも施設への水の供給が滞らないよう、恒常的に取水ができるようにする

方法: 常に取水口周辺に水が滞留するよう、下流部の河川内に岩石等を配置する。結果、下流部に産卵に適した緩やかな瀬が形成される。また、配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。(バックホー等大型重機使用)

実施: 北見管内さけ・ます増殖事業協会(岩尾別ふ化場)  
\*2012年6月実施済



良好な産卵床  
→現状維持

岩石等配置

流路修正



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

H

◎河道の修正(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 右岸(運動地側)の土壌浸食を防ぐため、右岸に寄った河道を左岸側に誘導する。

方法: 流路が左岸に寄るように、上流部に岩石等を配置する。配置する岩石は左岸の砂礫を利用する。なお、左岸側は岩盤地形のため、流路変更後も土壌浸食はされない。また、配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。(バックホー等重機使用)

実施: 斜里町(ダイキン工業寄付による)



G

◎河道の修正(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

◎サケマスの産卵環境改善

目的: 左岸に寄った河道を中央に誘導する。

方法: 流路が中央に寄るように、上流部及び下流部に岩等を配置する。結果、下流部に産卵に適した緩やかな瀬が形成される。また、配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。(バックホー等重機使用)

実施: 斜里町(ダイキン工業寄付による)  
\*2012年7月実施済



川幅拡張

斜里町(ダイキン工業寄付による)

◇既存人為的土手  
→頂上部を取り崩し、河川内  
にらし入れる。  
(人為的構造物の解消及び  
河道修正に用いるため)

岩石等配置



I

◎河道の修正(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 左岸に寄った河道を中央に誘導し、川幅を拡張する。

方法: 流路が中央に寄るように、上流部に岩石等を配置する。配置する岩石は、河原の砂礫を用いる他、右岸の人為的土手を取り崩したものを利用する。また、配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。(バックホー等重機使用)

実施: 斜里町(ダイキン工業寄付による)



# 区画4

K

◎サケマス産卵環境改善(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: サケマスの産卵に適した河床を形成する。  
 方法: 区間の上流部及び下流部に岩石等を配置し、下流部に産卵に適した緩やかな瀬が形成させる。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。(バックホー等重機使用)  
 実施: 斜里町(ダイキン工業寄付による)



←右岸 <下流から上流方向を撮影> 左岸→

■専門家コメント:  
 同区間については、現状でも産卵環境として良好と見受けられるため、現状維持でも良いのではないかと。(北海道技術コンサルタント岩瀬氏)

岩石等配置

岩石等配置

産卵床形成

良好な産卵床

既存防鹿柵

岩石等配置

L

◎河道の修正(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 左岸に寄った河道を中央に誘導する。  
 方法: 流路が中央に寄るように、上流部に岩石等を配置する。配置する岩石は、河原等の砂礫を用いる。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。  
 (バックホー等重機使用)  
 実施: 斜里町(ダイキン工業寄付による)



←右岸 <下流から上流方向を撮影> 左岸→

J

◎河道の修正(◎オショロコマ等の生息環境改善含む)

目的: 右岸(運動地側)の土壌浸食を防ぐため、河道を左岸側に誘導する。  
 方法: 流路が左岸に寄るように、上流部に岩石等を配置する。配置する岩石は右岸の砂礫を利用する。配置した岩石の周辺にはオショロコマ等が滞留する淵や深みが作られる。(バックホー等重機使用)  
 実施: 斜里町(ダイキン工業寄付による)



←左岸 <上流から下流方向を撮影> 右岸→

防鹿柵設置予定地(2014年)  
 \*自立式大型柵  
 ・2013年設置の大型柵に連結

防鹿柵設置予定地(2013年)  
 \*自立式大型柵



# 区画5

## 防鹿柵設置

\* 既存林分保護大型柵  
(2011年設置の柵に連結)

■ 総延長: 340m

■ 柵高: 2.5m

■ 柵形状: 自立式\_板張り

■ 施行: 知床財団

\* 2012年11月完成予定



駐車・資材置き場

ピリカベツ川

魚止めの堰堤

岩尾別川

## 防鹿柵設置

\* 既存林分保護大型柵

■ 総延長: 234m

■ 柵高: 2.5m

■ 柵形状: 自立式\_板張り

■ 施行: 知床財団

\* 2011年11月完成済

